



ニコンとUnistellar SASの技術を組み合わせた、デジタル天体望遠鏡「eVscope 2」について

ニコンの電子ビューファインダー（EVF）の技術をアイピースに採用
株式会社ニコン

2021年09月21日

株式会社ニコン（社長：馬立 稔和、東京都港区）は、フランスのUnistellar SAS（CEO: Laurent Marfisi、以下「ユニステラ社」）とのデジタル天体望遠鏡に関する共同開発基本契約の締結を2021年7月に発表し、コンシューマー向け天体観測の分野における革新的なソリューションの提供に向け取り組んでいます。

今回、両社の技術やノウハウなどを組み合わせた第一弾の製品として、デジタル天体望遠鏡「eVscope 2」をユニステラ社が発売します。本製品は、ニコンの映像事業で培った電子ビューファインダー（EVF）の技術をアイピースに採用し、鮮明でクリアな視界を実現しました。
ニコンとユニステラ社は、今後も人々に天体観測による感動を届け、宇宙への興味や関心を高めることで、科学の発展に貢献することをめざしていきます。

なお、日本では、ニコンの子会社である株式会社ニコンイメージングジャパン（社長：北端 秀行、東京都港区）が、公式オンラインショップ「ニコンダイレクト」にて、今後、製品概要の案内および発売を予定しています。



デジタル天体望遠鏡「eVscope 2」



「eVscope 2」のアイピース部分